

|                  |                                                   |
|------------------|---------------------------------------------------|
| 1 8 請 願<br>第 1 号 | 下落合公務員宿舎跡地の取得に関する請願                               |
| 付 託 委 員 会        | 環境建設委員会                                           |
| 受理及び付託<br>年 月 日  | 平成 1 8 年 9 月 6 日受理、平成 1 8 年 9 月 2 0 日付託           |
| 請 願 者            | 東京都新宿区下落合 _____<br>_____                          |
| 紹 介 議 員          | とよしま 正雄・阿部 早苗・野口 ふみあき・根本 二郎<br>久保 合介・かわの 達男・なす 雅之 |

## ( 要 旨 )

国の行政改革の一端として公務員宿舎の効率化が推進されています。当地域でも、現在下落合 2 丁目に位置する下落合公務員宿舎が 2 0 0 8 年にはその集約的对象となり国から払い下げになるとのことです。

おとめ山公園に続く当該地は、落合地区のみならず、新宿区民にとっても貴重な財産であり、「区民の森」として蘇生させることが肝要と考えます。先人から受け継いだ緑豊かな環境を守り、次世代へと繋げていくためにも、是非、新宿区において下落合公務員宿舎跡地を取得して頂くことを切望し、ここにお願いいたします。

## ( 理 由 )

## 1 「区民の森」の創出を

地域が企業によって開発されることにより、確実に自然の景観が損なわれていきます。それを、後から元の姿に戻すことは大変難しく、失った緑を取り戻すには極めて長い時間と大きな労力が必要となります。当該地はおとめ山に続く景観という視点から見ても、かけがえのない貴重な土地です。

この地を取得することによって、広く新宿区民の憩いの場や子どもたちの自然体験の場ともなる「区民の森」として蘇生させ、また、新宿の緑の景観のシンボルとして発展させて頂きたい。

## 2 広域避難場所としての活用

現在、落合地区住民の広域避難場所は区が指定している百人町であり、いざ災害が起こった際には踏み切りを越え、神田川を越えるなど距離的にも容易でないことが予想されます。地元では防災に関してたえず努力はしていますが、防災意識が高まる中、当該地は避難場所としても重要な拠点となります。

## 3 防災・緑のグリーンベルト

薬王院、氷川神社、おとめ山公園と続く緑のグリーンベルトは、自然環境を守るだけでなく、防災の観点からしても重要な要素を占めています。当該地を新宿区によって取得していただくことにより、緑のベルトを断ち切ることなく生かすことが防災機能をさらに高めることに繋がる効果が得られます。

#### 4 かけがえの無い湧き水を守る

東京都内でも数少ない湧き水を見ることが出来るのがおとめ山公園です。現在、自然環境を守り、より良い環境を次世代に繋げていこうと、地域のボランティアが蛍の育成に取り組んでいます。

湧き水（地下水）は地上の環境だけでなく、建造物によって被る地下の影響を多大に受けます。また、おとめ山公園の湧き水は貴重な植物や生物の生息にも大きな役割を果たしています。